

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

| | | |
|------|---|----|
| 重点項目 | 事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） | 評価 |
| | 施設の行事（運動会、夏祭り、クリスマス会等）の案内は、回覧板を活用したり、ホームページに掲載する等、地域の方に参加を呼びかけており、地域の子どもや近隣の方が多く参加している。散歩の時、挨拶を交わしたり、近隣の方から野菜や花を頂くこともある。また、神社の清掃を行い、地域との交流に取り組んでいる。 | |
| 重点項目 | 運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） | 評価 |
| | メンバーは地域総代、民生委員、家族代表、岡崎市役所長寿課職員、地域包括支援センター職員となっており、2カ月に1回開催され、ホームの様子や現状等を報告している。地域総代より近隣の意見、要望が会議で報告されており、ホームは改善に向け取り組んでいる。 | |
| 重点項目 | 市町村との連携（外部評価項目：4） | 評価 |
| | 法人内において行政の窓口となる担当者が配置されている。市からは介護相談員の訪問があり、1日ゆったりと時間をかけ、入居者と一緒に話をしたり、中庭で過ごし、職員の相談ののってもらったりしている。 | |
| 重点項目 | 運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） | 評価 |
| | 施設内に意見箱を設置しているが、面会時に直接、職員に話される家族が多い。また、家族会が年2回開催され、意見や要望などを聞いている。ホームで発行している便りには、入居者の様子を写真で載せたり、担当職員がコメントを記入して家族に伝えている。 | |
| 重点項目 | その他軽減措置要件 | 評価 |
| | 「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 | |
| | 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 | |
| | 運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。 | |
| 総合評価 | | |

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

| |
|---|
| 施設の行事に地域の方に参加を呼びかけており、地域の子どもや近隣の方が多く参加している。また、神社の掃除に参加するなど地域との交流に取り組んでいる。運営推進会議によって、地域の方の意見や要望等も伝えられており、良好な関係が築けている。法人内において行政への窓口となる担当者が決まっていることから、ホームとしては、運営推進会議以外に市町村との交流等はないが、介護相談員の訪問があり、相談ののってもらったりしている。 |
|---|

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

| 外部評価項目 | 確認事項 |
|-----------------------|---|
| 2. 事業所と地域とのつきあい | (例示) 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。 |
| 3. 運営推進会議を活かした取組み | (例示) 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。 |
| 4. 市町村との連携 | (例示) 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。 |
| 6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映 | (例示) 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。 |

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。